



R4 松川中学校 グランドデザイン



めざす教師像

- ①生徒が主人公となる授業に向けて日々の授業改善を積み重ねる教師。
- ②3Mを大切に生徒に寄り添った指導を実践できる教師。
- ③コンプライアンス意識を常に持ち、社会や地域から信頼される教師。
- ④グローバルな視点や思考を教育に取り入れようとする教師。

町教育委員会「4つの重点」

- 重点1 自ら学ぶ子どもの育成
- 重点2 多様な学びの実現
- 重点3 子どもが主役～子どもと語り合う～
- 重点4 地域とつながる～町全体が学校～

保護者や地域の皆さん

とつながりながら

- ①松中サポーターズ会議
 - ・てらこや・読み聞かせ
 - ・授業支援 体育 技術
 - ・環境整備 挨拶運動
- ②総合的な学習での連携
 - ・松川を知る(1 学年)
 - ・松川で出会う(2 学年)
 - ・松川に貢献する(3 学年)
- ③地域部活の準備運営
 - ・部活動指導員の配置
 - ・部活動外部コーチ委嘱
- ④ニコボラでの活動
- ⑤町文化クラブの活動

<学校教育目標>

自ら考え、正しく判断し、行動できる生徒

めざす生徒像

- ①自らの考えを表現できる生徒
- ②お互いの多様性を認め合うことができる生徒
- ③ふるさと松川を愛する生徒

① 主体的・対話的で深い学びによって、自らの考えを表現できる生徒の育成をめざす。

- ・松中スタンダードで対話を通して、主体的に学び合い、深い学びにつながる授業の実践。
- ・タブレット等ICT機器を授業や家庭学習で活用しながら個別最適化した学びや創造性を育む学びの実現。
- ・実習、実験などの体験を大切に、五感を働かせることで感性を磨く授業の実践。

※学校評価1 分かりやすく、熱心に取り組める授業になっているか

(そう思う・概ねそう思う) (R3 74%)



保育実習

② 3Mを大切にしながら、お互いの多様性を認め合うことができる生徒の育成をめざす。

- ・教師、さらに生徒同士の3M、良さを「見つけ認め見とどける」ことで互いを肯定的に受けとめる関係づくり。
- ・チーム学年の実践を通して多くの職員が一人一人の生徒と関わり、多面的な生徒理解をはかる。
- ・生徒会を中心に縦割り活動を積極的に導入し、相互理解をはかり、集団の絆を深める。
- ・インクルーシブ教育と学びの場の保障、オンラインも活用してのつながりづくり
- ・家庭と連携しネットモラルや情報リテラシーなど今日的な教育課題への対応

※学校評価2 学校での生活は楽しく充実しているか(R3 75%)

※学校評価3 学年、クラスが楽しく安心できる場所になっているか(R3 70%)



オンライン学活

③ 地域の力を活かし、地域と関わることで、ふるさと松川を愛する生徒の育成をめざす。

- ・松川町や、そこで生きる人を中心に据えた探求的、協働的な学習の展開。
- ・学校生活や授業の中で SDGsを意識しながら、よりよい地域や社会、未来を築いていこうとする姿勢の醸成。
- ・ニコボラや公民館活動への参画、町文化クラブの活動を推奨しながら地域で活躍し貢献できる生徒の育成。

※学校評価4 生徒会活動は日常生活の向上をはかり学校生活の充実につながっているか(R3 78%)

※学校評価5 地域の方と触れあいながら地域を大切にする学習を進めているか(R3 58%)